



開発力×検証力×品質力によってお客様のビジネスの推進に貢献したい

# 日本製 風車用増速機 シェアNo.1! 株式会社 石橋製作所



5メガワット風車用増速機

る事業を増やしていきたいと考えています。

○どのような新入社員(人材)を求めていますか。また、学生・若者に向けてメッセージがあれば、教えてください。

やはり挑戦する気持ちがある方が当社には向いているかもしれません。若いときに夢中になって仕事をすることは人生にとってとても重要なことだと思います。本当の仕事の面白さは一定期間の長い取り組みの中に見出せるものです。それを自分自身で見つけてほしいと思います。

「地場産業を知ろう」 第15回 学生レポート

市民の方に地場産業を知ってもらおうと、大学生が市内の企業を取材しました。今回は歯車装置の設計・製作を行っている株式会社 石橋製作所をご紹介します。

## トップインタビュー



代表取締役 石橋 和彦さん

○石橋製作所の事業内容について教えてください。

当社では歯車装置(ギアボックス)の設計・製作を行っています。その中でも一番割合の大きな事業が風力発電用の風車用増速機の製作です。風車の羽のゆっくりとした回転を、発電機が発電しやすい回転まで高める機能を持っています。最近では洋上風力発電用の開発にも力を入れています。また、タービン用の減速機やプラスチックを量産するための機械のギアボックスの製作も行っています。

## 社員に直撃取材



営業本部 営業課 課長 岸野 重之さん

○ご自身が関わっている業務と1日のスケジュールについて教えてください。

主に、風力発電向けおよび一般産業向けのギアボックスの、国内と海外での営業担当をしています。営業の比率としては風力分野が7、8割を占めています。一日のスケジュールは、お客様を訪問し、打ち合わせや見積書の提出、交渉を行うことがメインです。また、社内では、見積書の作成や打ち合わせを行います。

○石橋製作所で成長できたこと、自身の今後の目標について教えてください。

社長と同じ部屋で、社長・上司と気兼ねなく話ができるので風通しいい職場だと思います。私は勤続20年となりますが、これまでの長い間、仕事を続けてこられたのは、職場の雰囲気の良いおかげだと思います。

○石橋製作所で成長できたこと、自身の今後の目標について教えてください。

当社の営業として注文を取ることから始まり、工程の管理から納入、経

企業理念というのは、組織のトップの人生観や趣味趣向、考え方に基づいていなければ、どんなに立派なことを謳っても絵に描いた餅になってしまうと考えられています。私の理念のコアコンセプトは「他者と異なること、スケールの大きな、また驚きのあることをわくわくしながら探す」です。そのうえで石橋製作所の理念を「驚きのあるコト提案と従来の魂を込めたものづくりにより期待を超える感動を創出する」としています。

を体験できるこのイベントを通して、子どもたちに伝えたい思いを教えてください。

今までは、ものづくりの職場は危険な作業があり、また油まみれになって働く、いわゆるブルーカラーのイメージが強かったと思います。しかし、これから労働人口が減少していく中、ものづくりの職場の働き方は、危険な、また高負荷な作業自体は機械に任せて、設計や製造方法を考えることに重きを置いた水色カラー(オフィスで働くホワイトカラー)とブルーカラーの中間へと変化しています。「のおがたわくわく」で、子どもたちに実際に当社のもので、子どもの現場を見ることができ、ものづくり企業へのイメージを再認識していただき、将来、ものづくりの仕事に就きたいと思う子どもたちが増えるきっかけになればと考えています。

○御社の技術力の高さとそのバックボーンとなる企業独自の強みを教えてください。

1989年に、産業用のギアボックス分野で、世界でもトップクラスのドイツのフレンドラー社と合併企業を立ち上げ約12年間、グループ企業の一社として事業を行ってきました。そのことにより、多くの技術の習得と高性能加工機を安価に購入することができました。それに伴い、依頼される仕事のレベルも従来より高くなりましたが、少し困難な仕事であっても挑戦する、社内用語です「つまさき立ちビジネス」を行うことで企業として成長できたと考えています。

地球環境に貢献できる再生エネルギー分野という大きな柱を中心に、5つぐらいの事業を築きたいと考えています。それから先はより安定的な経営を目指します。現在のフロービジネス(受注↓製造)のみでは、受注状況により利益の浮き沈みが発生するため、事業の一部をストックビジネス(常に安定的に利益を出せる)化させていきたいと考えています。並行して、半歩ズレビジネス(常識に縛られない新しい発想による)の展開を進め新たな柱の芽とな



●のおがたわくわくに関する詳細は ホームページ: <http://adox.jp/wakuwaku>

- 会社名：株式会社 石橋製作所
- 所在地：上頓野4636-15
- 電話：26-3711
- FAX：26-3902
- URL：https://www.ishibashi-mfg.com

●この記事に関する問い合わせ先 商工観光課工業振興係 (TEL 29-3155)

## 取材を終えて



初めてのインタビューに緊張しました。企業の経営者の考えに興味があり、お話を聞くことができて良かったです。また石橋製作所の設備、ギアボックス等を実際に見せていただき、技術力の高さに驚きました。貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。

北九州市立大学大学院 修士2年 瀧野 裕磨



今まで企業訪問や工場見学をすることはありましたが、研究との関連性が薄い機械製造業を見に行くというのは貴重な機会でした。私が最も印象に残ったことは、社長のコアコンセプトです。経営者としての「熱さ」と人間の「厚さ」を感じました。また、石橋社長の「挑戦」の精神は自分たちの研究に通ずると思いました。

北九州市立大学大学院 修士1年 寺田 望海